

2024 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に 川崎医科大学高齢者医療センターに入院された方及びご家族の方へ

—「Short Physical Performance Battery 下位項目による高齢入院患者の 転倒リスク層別化の検討：後方視的観察研究」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	篠永 篤志
研究分担者	附属病院	リハビリテーションセンター	理学療法士	松本 浩実
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	岡田 裕
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	山下 ひとみ
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	明尾 高幸
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	濱口 雄喜
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	江崎 悠太
	川崎医科大学	リハビリテーション医学教室	講師	安永 雅
	高齢者医療センター	高齢者総合診療科	准教授	角谷 裕之
	高齢者医療センター	高齢者総合診療科	教授	和田 健二
	高齢者医療センター	高齢者総合診療科	教授	杉本 研

1. 研究の概要

入院中の転倒は、骨折や身体機能の低下、退院の遅れなどにつながる重要な問題です。そのため、転倒しやすさ（転倒リスク）を早い段階で把握することが大切とされています。

近年、バランス・歩く・椅子から立ち上がるといった動作を評価する「Short Physical Performance Battery (SPPB)」という身体機能評価が、入院中の転倒と関連することが報告されています。しかし、SPPBを構成するそれぞれの項目が、どのように転倒リスクと関係しているかについては、十分に明らかになっていません。

本研究では、当院に入院された高齢患者さまの診療情報を用いて、SPPB の各項目と入院中の転倒との関連について後方視的に調査いたします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に川崎医科大学高齢者医療センターに入院された 60 歳以上の方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において入院された方で、研究者が診療情報をもとに SPPB の得点を調査し、入院中の転倒発生に及ぼす影響について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、内服歴、転倒転落アセスメントシート、身体機能評価（SPPB、握力、筋肉量）、入院中の転倒発生状況（発生頻度、発生日時、発生場所、外傷の有無）等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学高齢者医療センターのリハビリテーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

なお、この研究に関する研究計画書および個人情報の開示は行いません。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学高齢者医療センター リハビリテーションセンター

氏名：篠永篤志

電話：086-225-2112 内線 41500（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-225-2110

E-mail：a-shino-reha@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。